

(2) 資格や技能について

① 資格の取得状況（問5・複数回答）

現在持っている資格は「運転免許」が56.3%（280人）で最も多かった。次に「特に資格は持っていない」20.1%（112人）、「その他」17.3%（86人）、「簿記」12.5%（62人）と続いた。

母子家庭・父子家庭別にみても、上位4項目は同じであったが、「運転免許」については父子家庭の84.4%が取得しており、母子家庭（53.5%）と比較して大きな差が見られた。

「その他」の資格では、「介護職員実務者研修」、「歯科衛生士」、「登録販売者」などがあがった。

図表 27 （複数回答）

	n=497	全体	n=452	母子家庭	n=45	父子家庭
看護師	19	3.8%	19	4.2%	0	0.0%
栄養士	10	2.0%	10	2.2%	0	0.0%
調理師	13	2.6%	11	2.4%	2	4.4%
理・美容師	10	2.0%	10	2.2%	0	0.0%
保育士	25	5.0%	24	5.3%	1	2.2%
ケアマネージャー	2	0.4%	1	0.2%	1	2.2%
ホームヘルパー	38	7.6%	36	8.0%	2	4.4%
介護福祉士	34	6.8%	33	7.3%	1	2.2%
簿記	62	12.5%	57	12.6%	5	11.1%
教員	13	2.6%	12	2.7%	1	2.2%
パソコン・情報処理	35	7.0%	35	7.7%	0	0.0%
外国語	18	3.6%	18	4.0%	0	0.0%
医療事務	26	5.2%	26	5.8%	0	0.0%
運転免許	280	56.3%	242	53.5%	38	84.4%
その他	86	17.3%	79	17.5%	7	15.6%
特に資格は持っていない	112	20.1%	107	21.0%	5	11.1%

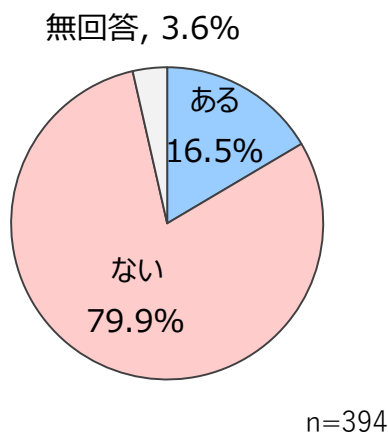
② 資格取得のコロナ禍による影響（問 5-(2)・複数回答、問 5-(3)）

コロナ禍以降に取得した資格の有無については、「ない」が79.9%（315人）となり、「ある」は16.5%（65人）にとどまった。

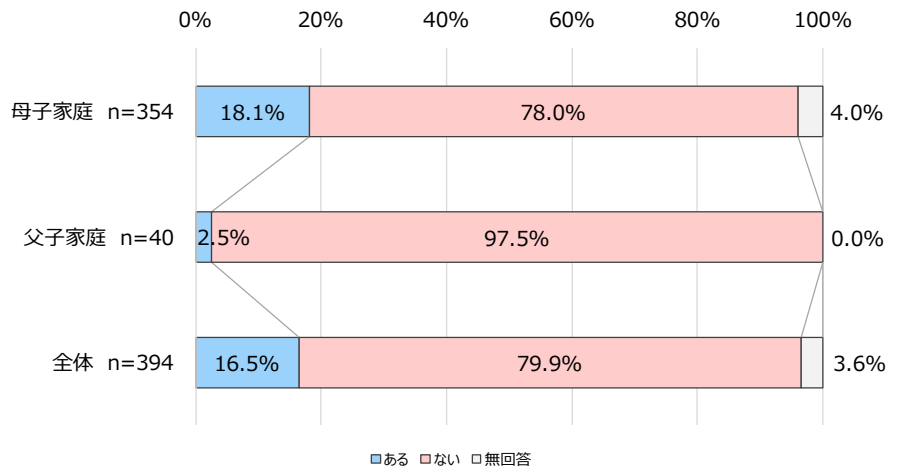
コロナ禍以降に取得した資格は、「その他」が40.0%（26人）を占め、「介護福祉士」13.8%（9人）、「パソコン・情報処理」12.3%（8人）、「看護師」「ホームヘルパー」7.7%（5人）とつづいた。

母子・父子家庭別にみると、父子家庭のひとり親で、コロナ禍以降に取得した資格が「ある」と回答したのは2.5%にとどまった。

図表 28



図表 29



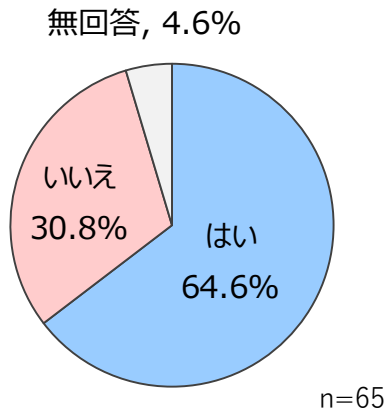
図表 30（複数回答）

	n=65	全体
看護師	5	7.7%
栄養士	0	0.0%
調理師	0	0.0%
理・美容師	1	1.5%
保育士	4	6.2%
ケアマネージャー	2	3.1%
ホームヘルパー	5	7.7%
介護福祉士	9	13.8%
簿記	3	4.6%
教員	0	0.0%
パソコン・情報処理	8	12.3%
外国語	0	0.0%
医療事務	1	1.5%
運転免許	1	1.5%
その他	26	40.0%

また、コロナ禍以降に取得した資格が就職に役立ったと回答した人は 64.6%（42 人）、役立たなかったと回答した人は 30.8%（20 人）であった。

役立たなかったと回答した 20 人が、コロナ禍以降に取得した資格は、「その他」が最も多く、55%であった。

図表 31



図表 32

	20*	全体
看護師	0	0.0%
栄養士	0	0.0%
調理師	0	0.0%
理・美容師	1	5.0%
保育士	1	5.0%
ケアマネージャー	0	0.0%
ホームヘルパー	1	5.0%
介護福祉士	2	10.0%
簿記	1	5.0%
教員	0	0.0%
パソコン・情報処理	3	15.0%
外国語	0	0.0%
医療事務	0	0.0%
運転免許	1	5.0%
その他	11	55.0%

③ 最終学歴（問6）

ひとり親の最終学歴は、「高校・高等専修学校卒」が 37.8%（188 人）で最も多く、続いて「高専、短大、専門学校卒」30.8%（153 人）、「大学、大学院卒」21.3%（106 人）、「中学校卒」9.3%（46 人）であった。

母子・父子家庭別にみると、父子家庭では、「中学校卒」と、「高校・高等専修学校卒」を合わせると 55.5%と過半数を占め、母子家庭の 46.2%と比べて高く、「大学、大学院卒」は 31.1%と、母子家庭の 20.4%と比べると高い結果となった。

図表 33



図表 34

